



NPO法人 あすみが丘国際交流

Newsletter

NPO 法人あすみが丘国際交流 No.78 2019.09.30 発行 会員数 889 名(2019.04.01 現在)

住所 〒267-0066 千葉市緑区あすみが丘4-1-6 エクレール土気 101
TEL/FAX : 043-294-9551 E-mail : aifs@eastcom.ne.jp
Asumigaoka International Friendship Society = AIFS (アイフス)
<https://www.npo-aifs.org/> <http://aifs.cocolog-nifty.com/blog/>

サマーフェスティバル

サマーフェスティバルへの寄付・参加は3回目となります。今回特別に用意したのは、ノルウェー、ベトナム、オーストラリアとskypeを通して、ライブでビデオ会話を行うことでした。浴衣のお嬢さん3人組のノルウェーとの会話は、ノルウェー側にも日本の夏祭りの雰囲気をよく伝えたのではないのでしょうか。室内に比べアウトドアでのセッティングは難しかったのですが、慣れればもっとスムーズに行えそうに思えます。

ノルウェーと話すお嬢さん3人



加えて、去年と同じく子供向けゲームコーナーでヨーヨー釣り



り、金魚釣り、コリントゲームを提供しました。会員だけでなく多くのボランティアの方々にも支えていただき延べ1000人以上の子供達に昔ながらの縁日のゲームを味わってもらうことができました。



今年の展示パネルは「したたかに、しなやかに！」という思いで構成してみました。カリフォルニア大学の教授達2人が米国とメキシコの国境の柵にピンクのシーソーを取り付けました。国境の両側で子供達がシーソーを揺らし笑いあう姿はトランプ大統領の“great wall”などという政策を静かに笑い飛ばして超えさせるものを想像させてくれます。(動画参照)

https://www.youtube.com/watch?v=xy8BhPWvo5M&feature=youtu.be&fbclid=IwAR15kZCqWbaHT_hO52VSTkg_Hw4gFjbM2tGUuJQdvjDUwk-akQT2sp-S2vI

また、“世界の課題を最も強く訴える40の広告”からいくつかをピックアップして展示しました。森を伐ってしまうことは肺を喪っていくことを訴えるものであったりドキッとさせる風刺画になっています。どの作品も世界中の政府や企業に加え、一人一人が協力しなければ解決できない問題を強力に描き出し訴えています。<https://www.boredpanda.com/powerful-social-advertisements/>

2日間お手伝いいただいた皆様本当にありがとうございました。

スクール・ビジット(留学生、土気高校訪問交流)

実施日：2019年8月21日(水) 午前10時～午後4時

参加者：双葉外語学校 7名
3h日本語学校 10名
土気高校 80名(生徒会役員、国際交流委員、英語部、茶道部、華道部、
剣道部、ギター部、吹奏楽部、担当顧問・教職員)
AIFS 6名

AIFS 恒例の国際交流イベントとなった“スクールビジット”に今年もいろいろな国からの留学生が参加してくれました。他方、訪問を受ける土気高校では、貴重な夏休みの最中にもかかわらず多くの生徒さん、先生方が万端の準備をして迎えて頂きました。

朝10時少し前に土気駅に着いた留学生はボランティアの車に分乗。校門からは出迎えの生徒さんの先導で校長室へ。校長先生のご挨拶を拝聴した時はみんなやや緊張気味。校舎へ移動して受付を済ませると土気高校クラブ活動体験ツアーがスタート。

まず日本伝統文化の代表格の茶道部を訪問。初めて見る茶室や茶器の造形、掛け軸に興味津々。慣れない正座に四苦八苦しながらも初めて味わう本物のお抹茶と和菓子を頂きみんな上機嫌。

次に、華道部を訪問。実習室では顧問の先生から手解きを受け、各人が用意された生花を使って生け花に挑戦。部員の手助けを借りながらも生け花を完成。意外な出来栄えにご満悦。早速スマホ写真をパチリパチリ！



午前中最後に訪れたのは日本武道の雄、剣道部。防具を着けた勇壮な部員による模範演技を見学した後、実際に竹刀を握って基本の立ち姿勢から、小手、メン、胴への連続技をまねるも上手くゆかず各所で失笑が起きていました。

午後の部の最初はクラシックギター部の演奏。普段の猛練習の成果を遺憾なく発揮して部員全員が一糸乱れぬ合奏を次々に披露。聴き入る留学生は昼食後のひと時をクラシックギターの音色にまどろむ時もありました。

次に訪れたのは吹奏楽部。関東大会で上位入賞する実力派ブラズバンド。部員全員が奏でる管楽器の迫力は鼓膜のみならず五臓六腑を震わすド迫力。留学生もその迫力に圧倒され暫し我を忘れて聴き入っていました。アンコールは無理を承知で2曲お願いしました。



最後に、返礼として留学生を代表してS嬢が素晴らしいスリランカの民族舞踊を披露。そしてF嬢とB君がモンゴル民話を手作りの紙芝居、然も日本語のナレーションで演じてくれました。これにはその場にいた全員がびっくりするやら、うっとりするやら。



土気高校部活動見学・体験ツアーのフィナーレは各国留学生と土気高校生との親睦・交流タイム。今日一日のいろいろな見学・体験の印象や感想、また自分の国の文化との違いを日本語・英語交じりに身振り手振りも加えて楽しく意見交換。和やかな中にも双方に異文化を体感する場となった。若い彼らがこれからの日本と世界の担い手となってより良い世界を作っていく一助となれば幸いである。

現代ベトナム事情と日本との関係

2019年8月4日（日）14:00～17:00 於：あすみが丘プラザ

講演をお願いした Tu さんは30歳とベトナム戦争後生まれの世代です。ハノイ工科大学を卒業して日本のIT企業に7年間勤務した後、2018年ベトナムでIT会社 Fabbi と日本法人の Fabbi ジャパンを設立してシステムのオフショア開発を橋渡ししています。



楽しい話、珍しい話がたくさんあったのですが、驚いたのはベトナムの総面積と総人口が日本のそれに非常に近いことでした。ベトナムの総面積約32万9000k㎡に対して日本は約37万7900k㎡、ベトナムの人口9700万人ですから日本の人口の7割程度ということです。

当日の参加者は45人。（参加者にはベトナム人5人、中国人1人、韓国人1人を含んでいます）活発な質疑応答・意見交換が行われ楽しんでもらえました。



ホームビジットの報告 7月28日（日）



ホームビジットは家庭に招待した形で行う国際交流です。去年は3件の家庭が行いましたが、ご都合が合わず今年は1件だけでした。ホストファミリーの金子さんにレポートしていただきました。

暑さに加え、あいにくの雨でどんなオモテナシをしようかと考えこむような日だった。台湾籍のT・G A嬢と同じくT・G I嬢、ロシア籍のP・E嬢の女性3名を迎え、11時から合計6名でホームビジットがスタート。

最初にお昼の買い出しにカスミに向かう。お昼のメニューは手巻き寿司を中心に好き嫌いを聞きながら買い出しを行う。4人の娘（1＋3）は記念のプリクラコーナーで楽しむ。

手巻き寿司等、妻を含めた5名がキッチンで料理を楽しむ。食事では2人が納豆巻を初体験し、1人はクリアした。

エレナは独学で日本語を習得し、日本語を使って地元でアルバイトを行っているほど堪能。原点は日本のアニメという彼女の趣味は漫画制作でとてもうまい。

台湾の2人は短期留学で来日し、勉強を始めたばかりであるが、台湾で法律の勉強を行っていたり、社会人として毎日活動していたりとそれぞれ目標に向かってアグレッシブに活動している。

エレナは日本語で会話。2人は日本語+ポケトークで会話を行ったが2人で知識を共有できるので、午後にはポケトークは不要になった。
午後から晴れてきたので、昭和の森の散策か九十九里浜で足だけの海水浴を選んでもらったところ、暑かったこともあり、全員一致で九十九里浜になった。九十九里浜では各自砂浜を散策。一旦自宅に戻り、18時頃に土気駅で解散。

くらしのほんごくらの活動報告

現在、日本語の学習者は中国（2名 夫妻）、スリランカ（1名）、アメリカ（1名）、イタリア（1名）の5名で、毎週木曜日（午前）、第2・第4火曜日（午前）にAIFS事務所にて学習しております。学習者の皆さん、日本語に対する向学心も旺盛で、毎回楽しく学習しております。

この夏休みを利用して、学習者（スリランカ）は母国に一時里帰り、学習者（アメリカ）は大好きな京都の寺巡り等の観光、学習者（イタリア）は房総の勝浦に滞在するなど、それぞれ充実した夏休みを送られました。

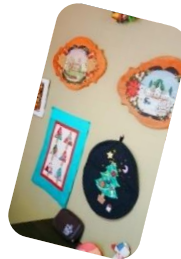
9月から新学期として、心機一転、学習者の日本語学習に対する意気込みが感じ取れます。

「手作り作品の展示販売会」のご案内とご報告

ボランティア会員による、手作り作品展示物会場には、延べ50名近い方々の見学があり購入にご協力を頂きました。引き続き開催をしておりますので、皆様お誘いの上お気軽にお立ち寄り下さい。

会場 AIFS 事務所
開催日 木曜日・金曜日
時間 10時～16時

※売上の一部は、国際交流 AIFS に寄付されます。



ご寄付下さい！

事務所のささやかな備品の1部が壊れましたのでご寄付いただける方がありましたら、よろしくお願いいたします

- ・冷蔵庫（小型）1台
- ・子供用プール（ヨーヨー釣り等に使用）1台
- ・会議椅子6脚（1脚からでも）

お譲り頂ける方は、お名前、ご住所、電話番号、メールアドレスを、メール又はFAXでご連絡をお願い致します。後日こちらからご連絡させていただきます。

TEL/FAX：043-294-9551

E-mail aifs@eastcom.ne.jp

「ニュース・レターの各戸配布について」

配布ボランティア募集に対して新たに手をあげていただけたのは2名だけでしたので、やむなく各戸配布をストップします。印刷物は、これより自治会を通じての回覧とお願いできた場所（プラザ・AIFS事務所・せんだう・ひまわり・ボワドオル等）でのピックアップになります。HP上で何時でもご覧になれますし、HPはより頻繁に更新していますので最新情報を見ることができます。